

「西脇市財政健全化プラン」の取組状況報告

本市では、平成23年3月に策定した平成23年度から平成27年度までの5箇年を計画期間とする「西脇市財政健全化プラン」に基づき、将来にわたり安定した財政運営基盤の確立を目指した取組を全庁を挙げて積極的に推進しています。この度、平成26年度決算及び健全化への取組状況を報告します。

1 具体的取組

(1) 自主財源の確保

① 市税等収納率の向上対策

【これまでの取組状況】

- ・長期、高額滞納者に対する滞納処分の実施
- ・滞納処分の強化、インターネット公売等、多角的な処分方策の導入・実施
- ・滞納者の財産調査の強化及び預貯金、不動産を中心とした差押えの強化
- ・税務課と国保担当との連携した一斉徴収及び一斉電話催告の実施
- ・コンビニ収納の導入（軽自動車税）
- ・個人住民税等県整理回収チームの派遣
- ・奨学資金貸付金の返済業務における口座振替制度の導入
- ・債権の適正管理のため、「西脇市債権管理に関する条例」を制定

・平成27年度市税徴収率目標 現年度98.15% 過年度14.80%

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実績(現年度)	97.78%	98.09%	98.15%	97.89%	—
実績(過年度)	16.95%	19.30%	13.61%	15.57%	—

・平成27年度国保税徴収率目標 現年度92.00% 過年度 6.80%

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実績(現年度)	92.77%	92.83%	92.60%	93.89%	—
実績(過年度)	6.88%	8.39%	6.89%	8.21%	—

② 商工業振興と企業誘致対策

【これまでの取組状況】

- ・にしわき上比延工場公園の分譲
- ・企業立地促進措置条例を改正（優遇措置内容の充実）
- ・共通商品券の発行を支援
- ・小規模企業者等設備投資の促進
- ・市街地の工場跡地への企業誘致

③ 受益者負担の適正化

【これまでの取組状況】

- ・ 家族介護者交流支援事業に受益者負担を導入
- ・ 離乳食教室に受益者負担を導入
- ・ レントン市中学生親善訪問参加者負担金の見直し

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	0	0	0	1	—

※各年度の数値は、使用料・手数料見直しによる増収額（見直しの効果は計画期間中継続するものとします。）

④ 市有財産の有効活用

【これまでの取組状況】

- ・ 未利用市有地の売却

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	61	5	8	5	—

※各年度の数値は、未利用市有地売却等による収入額（各年度毎）

⑤ 有料広告の掲載

【これまでの取組状況】

- ・ 有料広告掲載の積極的な運用による財源の確保
（ホームページ、広報紙、茜が丘分譲広告、北はりま農産物直売所掲示板、広告付き案内板）
- ・ 市役所で使用する各種封筒の寄附受領

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	2	2	2	2	—

※各年度の数値は、有料広告等による収入額（各年度毎）

⑥ その他の取組

【これまでの取組状況】

- ・ 寄附特典の追加やクレジット収納を導入し、ふるさと寄附を推進
- ・ 自動販売機設置事業者の公募制度を導入
- ・ 中央駐車場指定管理の公募による納付金の増

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	9	10	17	14	—

※各年度の数値は、ふるさと寄附等による収入額（各年度毎）

(2) 事務事業の見直し

① 事務事業評価の実施

【これまでの取組状況】

- ・道路事業に先行し、地籍調査事業を活用することによる市単独費用負担の軽減
- ・岡防災倉庫の解体による土地借上料の削減
- ・学校体育施設における利用者による自主管理
- ・障害児日中一時支援事業の廃止
- ・電力会社の見直しによる電気料金の削減
- ・茜が丘現地事務所の廃止
- ・緑風台古窯陶芸館開館日の見直し
- ・北はりま田園空間博物館の使用料の見直し

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	2	5	10	17	—

※各年度の数値は、事務事業見直しによる削減額（見直しの効果は計画期間中継続するものとします。）

② 補助金等の見直し

【これまでの取組状況】

- ・母子福祉年金事業の廃止
- ・全ての補助金について、交付規程等を整備
- ・障害者福祉年金所得要件の見直し
- ・高齢者移動支援事業（タクシー助成）所得要件の見直し
- ・中小企業勤労者福祉共済事業の見直し

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	6	6	8	11	—

※各年度の数値は、補助金等の見直しによる削減額（見直しの効果は計画期間中継続するものとします。）

(3) 外部委託等の推進

【これまでの取組状況】

- ・地球科学館の管理運営を指定管理に移行
- ・情報機器設定業務や安心コールセンター事業を委託化
- ・日本のへそ日時計の丘公園オートキャンプ場の管理運営を指定管理に移行

(4) 公共工事のコスト縮減

【これまでの取組状況】

- ・「公共工事コスト縮減のためのガイドライン」の策定
- ・ガイドラインに基づいた取組の推進

(5) 上下水道事業の経営健全化

【これまでの取組状況】

- ・水道ビジョンの策定
- ・料金の適正化
- ・施設統廃合の検討
- ・施設の長寿命化及び維持管理費の削減
- ・水洗化率の向上（26年度目標値89.0%、実績値88.3%）

（単位 百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	0	0	0	0	—

(6) 定員適正化計画の推進

【これまでの取組状況】

- ・正職員が担っている業務の性格や形態等を勘案し、定数外職員へ移行することによる正職員の削減
- ・雇用対策職員（期限付嘱託職員）の導入による正職員の削減
- ・時差出勤制の導入による時間外勤務手当の削減
- ・ノー残業デーの徹底に伴う意識改革による時間外勤務手当の削減
- ・時間外勤務命令に係る管理・監督職責任の明確化
- ・組織体制の見直しと民間委託による削減

（単位 百万円）

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
実 績 額	79	202	300	320	—

※各年度の数値は、定員適正化による削減額（H22との比較）

※給与臨時特例法に準じた減額措置分を含む。（H25）

2 取組項目の数値実績総括

(単位 百万円)

項 目	H23	H24	H25	H26	H27	合 計	
自主財源関係	受益者負担の適正化	0	0	0	1	—	1
	市有財産の有効活用	61	5	8	5	—	79
	有料広告の掲載	2	2	2	2	—	8
	その他の取組	9	10	17	14	—	50
事務事業関係	事務事業評価の実施	2	5	10	17	—	34
	補助金等の見直し	6	6	8	11	—	31
上下水道事業の経営健全化	0	0	0	0	—	0	
定員適正化計画の推進	79	202	300	320	—	901	
合 計	159	230	345	370	—	1,104	

3 財政健全化計画

(単位 百万円)

区 分	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27
市 税	5,169	5,253	5,066	5,024	4,984	4,812
地 方 交 付 税	5,630	5,858	6,133	6,115	6,063	5,951
そ の 他	3,315	3,037	2,629	3,304	2,925	2,653
歳 入 計	14,114	14,148	13,828	14,443	13,972	13,416
義 務 的 経 費	4,643	4,660	4,675	4,551	4,458	5,002
うち人件費	2,343	2,282	2,213	2,104	1,995	2,093
投 資 的 経 費	976	741	648	834	300	924
補 助 費 等	4,606	4,529	4,567	4,446	4,983	4,079
うち病院事業	1,358	1,357	1,477	984	1,097	1,070
うち下水道事業	1,518	1,585	1,562	1,600	1,776	1,405
繰 出 金	1,217	1,249	1,441	1,350	1,549	1,408
そ の 他	2,279	2,496	2,148	2,467	1,961	1,599
歳 出 計	13,721	13,675	13,479	13,648	13,251	13,012
歳入歳出差引額 A	393	473	349	795	721	404
基金取崩額 B	245	246	412	111	112	254
うち財政調整基金	0	0	0	0	0	0
再 差 引 (A + B)	638	719	761	906	833	658
財政調整基金残高	3,047	3,457	3,767	4,172	4,600	4,597

※ H27数値は、見込み数値

※この財政健全化計画は、普通会計における一般財源ベースで作成しています。